

スチームジェットクリーナー

STEAM JET CLEANER

取扱説明書/保証書付
MCE-3397(イエロー)
MCE-3577(グリーン)

この度はお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用下さい。お読みになった後は大切に保管して下さい。

万が一、本製品を使用した製品に不具合が生じても責任は負いかねます。

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
各部名称	5
使用方法	6
ノズル、ノズルカバー、ブラシ別使用例	10
お手入れ方法/こんな時は…	15
商品仕様/保証書	裏表紙

安全上のご注意 ※必ずお読み下さい。



誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



誤った取扱をすると、人が傷害(※1)を負ったり、物的損害(※2)の発生が想定される内容を示します。

※1 傷害とは、治療に入院や長期の通院等を要しない火傷、感電、思わぬけが等をさします。

※2 物的損害とは、家屋や家財および家畜やペットにかかわる拡大損害を示します。



禁止(してはいけないこと)を示します。



強制(必ずすること)を示します。

警告



分解禁止

・絶対に分解・修理・改造は行わない。
※感電や思わぬけが、製品の故障に繋がる恐れがあります。



ぬれ手禁止

・濡れた手でプラグの抜き差しはしない。
※感電の原因となります。



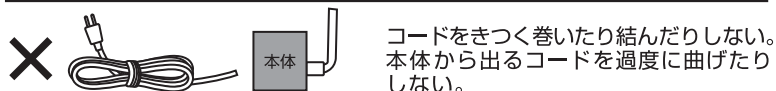
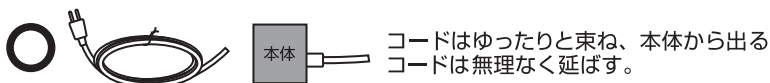
水ぬれ禁止

・本体を水につけたり、水をかけたりしない。
※感電・ショート・火災、製品の故障の原因となります。



強制

- ・プラグは根元まで確実に差し込む。
- ・必ず交流 100V で使用する。
- ・プラグのほこり等は定期的にとる。
- ・コードの取り扱いは、必ず下記の内容を守る。
 - コードを本体に巻き付けない。
 - コードをドア等で挟まない。
 - コードの上に物を置かない。
 - コードを過度に曲げない。
 - コードをきつく束ねたり結んだりしない。
 - コードをねじらない。
 - コードを引っぱってプラグを抜かない。(必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。)



※コードの誤った取り扱いは断線火災事故に繋がります。上記の内容を守り、正しくご使用下さい。

⚠ 警告



禁止

- ・子供等取扱に不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使用しない。
※感電・火傷・思わぬけがの原因となります。
- ・コードやプラグを破損するようなことはしない。
※感電・ショート・火災の原因となります。
- ・コードやプラグが痛んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しない。
※感電・ショート・火災の原因となります。
- ・空焚きはしない。※感電・ショート・火災の原因となります。

⚠ 注意



禁止

- ・本製品を本来の使用目的以外には使用しない。
- ・子供の手の届く所に保管しない。
- ・たこ足配線はしない。
- ・使用中や使用直後は持ち手以外には触らない。
※大変高温になり、火傷の原因となります。
- ・使用中は本製品の側から離れない。
- ・使用中はセーフティーキャップを外さない。
- ・破損したら使用しない。



強制

- ・お手入れ・保管は、必ずコンセントからプラグを抜き、本体が完全に冷めてから行う。
- ・電気製品に使用する際は、必ず製品の電源が入っていない事を確認する。
- ・ご使用後セーフティーキャップを外す際は、必ずプラグをコンセントから抜き、スチームボタンを押し続けてスチームが出ない事を確認する。
※内部が十分に冷えていないと蒸気が飛散り火傷の原因となります。
- ・本体が十分に冷めた事を確認の上注水する。
※内部が十分に冷えていないと蒸気が飛散り火傷の原因となります。



プラグを抜く

- ・使用時以外はプラグをコンセントから抜く。

使用上のご注意

内容を守らないと製品の動作に問題が生じたり製品本体の故障や劣化に繋がる注意事項、又その他の注意を示します。

- ・ 稀に本体の中に水滴が残っている場合がありますが、これは工場出荷時の検品によるものです。製品の動作に問題はありません。
- ・ 使用時間をお守り下さい。
※使用時間は加熱ランプ消灯時です。175mlの注水で使用できる時間は、約20分間です。
※ご使用の際は必ず換気をして下さい。
※加熱ランプ点灯時は使用しないで下さい。
※使用時間は環境温度によって異なりますのでご注意ください。
- ・ 一部のエアコンには使用出来ない場合もあります。製品の取扱説明書、製品購入店等でご確認下さい。
- ・ エアコンフィン以外の電気部分にスチームをかけないで下さい。
- ・ 凍ったガラス類及び、外気温が0℃以下の時には使用しないで下さい。
※ガラスが割れる恐れがあります。
- ・ 熱に弱い物(紙・ビニールクロス等)の上や場所(畳・じゅうたん等)の近くで使用しないで下さい。
- ・ 同じ箇所に長時間スチームを当てないで下さい。汚れがひどい場合は、汚れ部分に直接又は付属のスクラブブラシに家庭用液体洗剤等を付けてご使用下さい。
- ・ 強酸性、強アルカリ性、塩素系等のカビ取り剤及び粉末洗剤をご使用の際は、スチームクリーナーを使用しないで下さい。※飛散り危険です。
- ・ 水以外のものを、本体の中に入れて下さい。
- ・ 使用後は十分に乾かしてから保管して下さい。※カビの発生の原因となります。
- ・ 高温になる場所、直射日光の当たる場所への保管・放置はしないで下さい。
- ・ 落とす・ぶつける等、製品本体に強い衝撃を与えないで下さい。
- ・ お手入れの際にシンナー・ベンジン等の揮発性有機溶剤は使用しないで下さい。
※製品の変色の原因となります。
- ・ この製品は一般家庭用です。業務用でのご使用はご遠慮下さい。

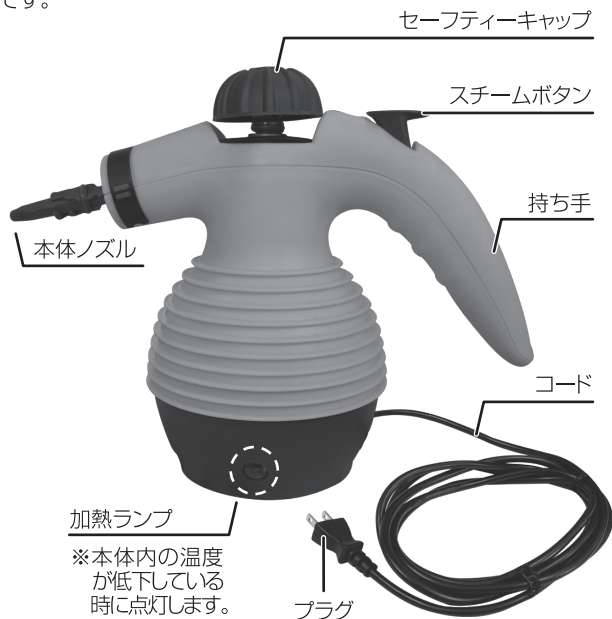
※下記の素材には使用しないで下さい

- 革製品
※製品の劣化・色落ち等の原因となります。
- ワックスがけした家具・床・フローリング
※ワックスがはがれる原因となります。
- 表面がコーティングされている木製製品
※コーティングがはがれる原因となります。
- プラスチック・合成繊維・ビロード・麻色の濃い布製品
水圧及び耐熱性のない物等
※変形・変色・破れ・ちぢみ等の原因となります。
- 凍っているガラス・陶器等
※凍っている物に使用すると、割れる原因となります。
- 畳・木材・壁紙等
※劣化・変色・カビ等の原因となります。

各部名称

本体

本体のみで使用する事も可能です。



じょうご

注水を行う際は、必ずじょうごをご使用下さい。



カップ

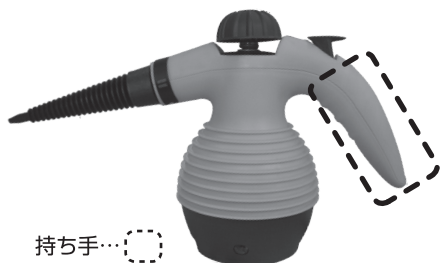


持ち手について

※使用中、使用直後は下記の持ち手以外の部分には触れないで下さい。大変高温になり、火傷の原因となります。

※ノズルやブラシ等を交換する際には、プラグをコンセントから抜き、本体及びノズル等が冷めた事を確認し交換して下さい。

■ストレートノズル・布用ノズル・スクラブブラシ又はアングルノズルを取り付けた状態で使用する場合。



■ロングノズルを取り付けた状態で使用する場合。



ロングノズル

長さが必要な時に、他のノズルと組み合わせて使用する事も可能です。使用中、持ち手以外には触らないで下さい。



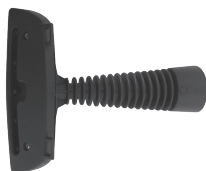
ストレートノズル

窓サッシ等、幅広く使用できます。



布用ノズル

衣類、カーテン、ソファ等々の布製品に。



布用ノズルカバー

布用ノズルの先端に被せて使用します。



窓用ノズル

布用ノズルにはめて、鏡、窓ガラス、ガラスドア等に。



スクラブブラシ

台所・レンジ周り等に。



アングルノズル

便器等届きにくい場所に。



使用方法

※稀に本体の中に水滴が残っている場合がありますが、これは工場出荷時の検品によるものです。製品の動作に問題はありません。

※使用時間をお守り下さい。

- ・使用時間は加熱ランプ消灯時です。175mlの注水で使用できる時間は、約20分間です。
- ・ご使用の際は必ず換気をして下さい。
- ・加熱ランプ点灯時は使用しないで下さい。
- ・使用時間は環境温度によって異なりますのでご注意ください。

※プラグをコンセントに接続すると、電源がONになり、加熱を開始します。

- ・基本手順⑧までは絶対にプラグをコンセントに差し込まないで下さい。
- ・プラグをコンセントから抜いても、本体が十分に冷めていない場合はスチームが出て大変危険です。必ず本体が冷めた事、スチームが出ない事を確認の上セーフティーキャップを外して下さい。
- ・連続して使用する場合は、プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めた事・スチームが出ない事を確認後、注水を行い（P.9注水手順）基本手順⑧から操作して下さい。

※使用中や使用直後は持ち手以外には触らないで下さい。
大変高温になり、火傷の原因となります。

※使用中は本製品の側から離れないで下さい。

※使用中はセーフティーキャップを外さないで下さい。
内部が十分に冷えていないと蒸気が飛散り火傷の原因となります。

※熱に弱い物（紙・ビニールクロス等）の上や場所（畳・じゅうたん等）の近くで使用しないで下さい。

※同じ箇所に長時間スチームを当てないで下さい。汚れがひどい場合は、汚れ部分に直接又は付属のスクラブブラシに家庭用液体洗剤等を付けてご使用下さい。

※水以外のものを本体の中に入れて下さい。

※材質、形状により、スチームジェットクリーナーを使用出来ない物もあります。必ず確認した上でご使用下さい。（P.4参照）

基本手順

※セーフティーキャップがしっかりと閉まっていない場合は、本体に気圧がかからない為、スチームが出ません。セーフティーキャップは構造上、完全に閉まっている状態や閉める途中の状態でも空回りするようにできています。キャップの開閉は必ず下記の手順を読み、正しく作業を行って下さい。スチームが出ない時は再度手順を繰り返してキャップを閉めて下さい。

①セーフティーキャップを押しながら反時計回り(矢印の方向)に回します。(図1)

⇒一周回る間にカチッという音がしてキャップが少し沈みます。(図2)

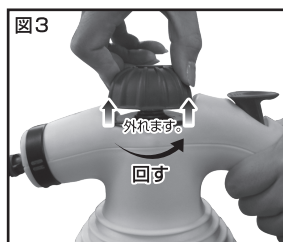
そこがロックポイントです。

※手を離すとキャップが浮き上がりますので手を離さないで下さい。

※ロックポイントが見つからない場合は下記の『ワンポイントアドバイス』を参照して下さい。

②ロックポイントにセーフティーキャップが沈んでる状態で、さらに反時計回り(矢印の方向)に回してセーフティーキャップを外します。(図3)

※キャップがロックポイントに沈んでる状態で回さないと空回りし外せません。



手を離さず回す

ワンポイント アドバイス

ロックポイントが見つけない時は ...

(セーフティーキャップの沈むポイント)

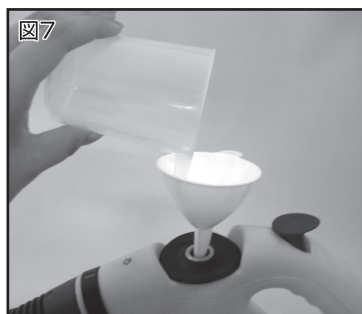
①本体をしっかりと持ち、セーフティーキャップを掌で押さえます。(図4)

②本体と掌を矢印の方向にひねります。(図5)

⇒一周回る間にカチッという音がしてキャップが少し沈みます。そこがロックポイントです。(図6)



- ③カップとじょうごを使用して本体に注水します。(図7)
※注水容量175ml以上の水は入れないで下さい。



- ④セーフティーキャップを時計回り(矢印の方向)に回して閉めます。(図8)
⇒キリキリと小さい音がし空回りして、それ以上閉まらなくなります。

- ⑤セーフティーキャップが空回りし始めたら、押しながらさらに時計回り(矢印の方向)に回します。(図9)
⇒一周回る間にカチッという音がしてキャップが少し沈みます。(図10)そこがロックポイントです。

※手を離すとキャップが浮き上がりますので手を離さないで下さい。

※ロックポイントが見つからない場合はP.7の『ワンポイントアドバイス』を参照して下さい。

- ⑥ロックポイントにセーフティーキャップが沈んでいる状態で、さらに時計回りに回して閉めます。
⇒手を離すとキャップが元に戻ります。

※キャップがロックポイントに沈んでる状態で回さないと空回りし完全に閉まりません。

※キャップが完全に閉まっている状態でも一度手を離すとキャップが元に戻り、空回りしますが故障ではありません。



空回りし始めたら

手を離さず回す

- ⑦用途に適したノズルやブラシを本体に取り付けます。(P.9ノズル付け替え方法参照)

- ⑧プラグをコンセントに差し込みます。
※加熱ランプが点灯します。

- ⑨スチームが出るまで約3~4分程待ち、加熱ランプが消灯したら使用可能です。
※環境温度により消灯時間は異なります。

※加熱ランプは使用中、本体内の水温が下がると再び点灯します。続けて使用する場合は、加熱ランプが消灯した事を確認の上ご使用下さい。

⑩本体ノズルを汚れている場所に向け、スチームボタンを押してスチームを出し、汚れを浮かせて布やキッチンペーパー等で拭き取る、又は洗い流して下さい。

※同じ箇所に長時間スチームを当てないで下さい。

※汚れに応じて間隔の調整をしながらご使用下さい。

※しつこい汚れにはスクラブブラシを使用してこすりながら汚れを落として下さい。

※スクラブブラシを使用しても落ちにくい場合は、汚れに直接家庭用液体洗剤をかけてしばらく放置した後ご使用下さい。

※ご使用後、セーフティーキャップを外す際は、必ずプラグをコンセントから抜き、スチームボタンを押し続けてスチームが出ない事を確認して下さい。

※使用しない時や使用後は、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。

■注水手順■

※注水容量175ml以上の水は絶対に入れないで下さい。

※注水を行う際は、必ずしょうごをご使用下さい。

①プラグをコンセントから抜きます。

②スチームが出なくなるまでスチームボタンを押し続けます。

③本体が完全に冷めた事を確認の上セーフティーキャップを外します。

④本体に水が残っている場合はプラグやコードに注意して排水します。

⑤注水します。

■ノズル付け替え方法■

※ノズル付け替えは、必ずプラグを抜いた状態で行って下さい。

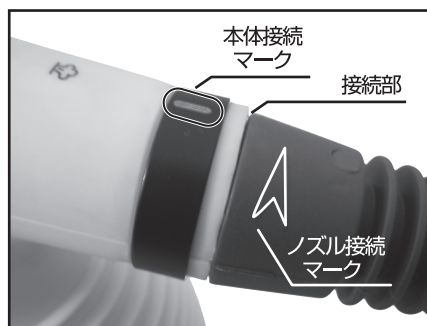
※ノズルはしっかりと取り付けて下さい。

※しっかりと取り付けていないと、接続部からスチームやお湯が漏れて危険です。

①本体ノズルに各ノズルを奥まではめ込みます。

②各ノズルのノズル接続マークと本体接続マークが合う様にひねりながら、本体に取り付けます。

※各ノズルやノズルカバー、ブラシの使用例はP.10「ノズル、ノズルカバー、ブラシ別使用例」をご覧ください。



ノズル、ノズルカバー、ブラシ別使用例

※強酸性、強アルカリ性、塩素系等のカビ取り剤及び、粉末洗剤をご使用の際は、スチームクリーナーを使用しないで下さい。飛散り危険です。

タイル目地・お風呂場・トイレ P.10参照

台所周り（レンジ周り・ガス台・電子レンジ・冷蔵庫内・換気扇等） P.11参照

布類 P.12参照

窓ガラス・鏡等 P.13参照

エアコン P.14参照

タイル目地・お風呂場・トイレ

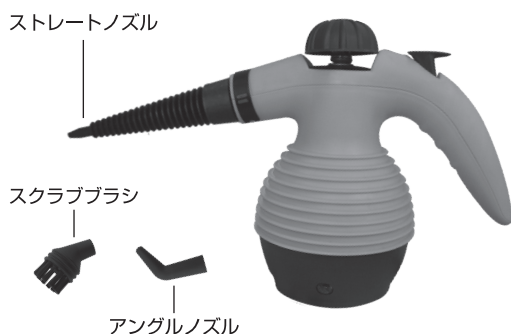
※ゴムパッキンに入り込んだ頑固なカビは、スチームジェットクリーナーでは落とす事が出来ません。

※持ち手以外には触れないで下さい。使用中、使用直後は持ち手以外は大変高温になり、触れると火傷の原因となります。（P.5持ち手について参照）

適しているノズル・ブラシ

- ・ストレートノズル
- ・ストレートノズル+スクラブブラシ
- ・ストレートノズル+アングルノズル

■ストレートノズルの先端にスクラブブラシ、又はアングルノズルを取り付けます。



①汚れが目立つ所にスチームを吹きかけます。

※タイル目地についた垢や石鹸カス等は、ストレートノズルの先端にスクラブブラシを付けて、汚れをこすり落として下さい。

※頑固な汚れには直接家庭用液体洗剤をかけて、しばらく放置した後スチームクリーナーをご使用下さい。

※トイレの届きにくいふち裏等は、ストレートノズルの先端にアングルノズルを上向きに付けて、汚れに密着させてスチームを吹きかけます。この時アングルノズルを下向きに取り付け、本体を逆にした状態で使用しないで下さい。

台所周り（レンジ周り・ガス台・電子レンジ・冷蔵庫内・換気扇等）

※電気製品のお手入れの際は、必ず製品の電源が入っていない事を確認の上ご使用下さい。

※換気扇のお手入れの際は、取り外して新聞紙等を敷いた上でご使用下さい。

※持ち手以外には触れないで下さい。使用中、使用直後は持ち手以外は大変高温になり、触れると火傷の原因となります。（P.5持ち手について参照）

適しているノズル・ブラシ

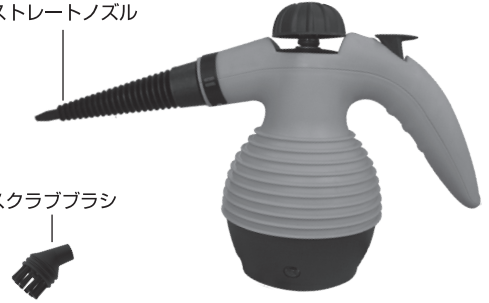
- ・ストレートノズル
- ・ストレートノズル+スクラブブラシ

■ストレートノズルの先端にスクラブブラシを取り付けます。

※しつこい汚れや傷付きやすい素材の掃除の場合は、スクラブブラシの先端に雑巾等を巻き付けます。

ストレートノズル

スクラブブラシ



適しているノズル・ブラシ

- ・ロングノズル
- ・ロングノズル+スクラブブラシ

■ロングノズルの先端にスクラブブラシを取り付けます。

※しつこい汚れや傷付きやすい素材の掃除の場合は、スクラブブラシの先端に雑巾等を巻き付けます。

スクラブブラシ

ロングノズル



①汚れをスクラブブラシで擦りながらスチームを吹きかけます。

②汚れが溶けて浮き出してきたら、キッチンペーパーや雑巾等で拭き取って下さい。

※頑固な汚れには直接家庭用液体洗剤をかけて、しばらく放置した後スチームクリーナーをご使用下さい。

布類

※合成繊維、ビロード、麻、色の濃い布製品や、水圧及び耐熱性のない物等には使用しないで下さい。

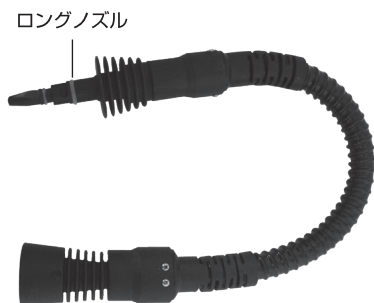
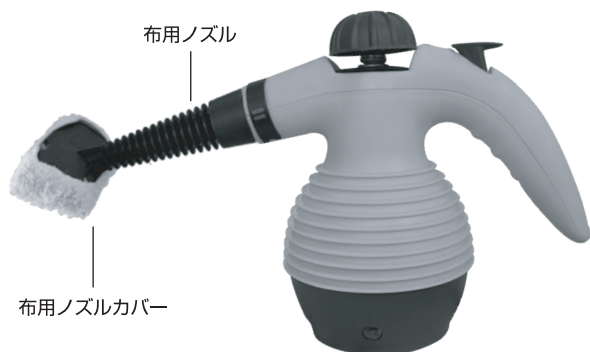
※持ち手以外には触れないで下さい。使用中、使用直後は持ち手以外は大変高温になり、触れると火傷の原因となります。（P.5持ち手について参照）

適しているノズル・ノズルカバー

- ・布用ノズル+布用ノズルカバー
- ・布用ノズル+布用ノズルカバー+ロングノズル

■布用ノズルを取り付け、布用ノズルカバーを被せます。

■長さが必要な場合は本体にロングノズルを取り付け、先端に布用ノズルを取り付けます。



- ① スチームを出しながらソファー、クッション、カーテン等にスチームを吹きかけます。
※スチームを当てると表面が濡れますので、タオル等で拭き取り乾かして下さい。
- ② 洋服等の簡単なシワ取りの場合には、ハンガーに衣類をかけてご使用下さい。

じゅうたんの染み抜き

※染み抜きの作業をした場合でも、布の種類・経過時間によって、完全に染みは取れない場合があります。

- ① 液体等をこぼした直後であれば、余分な水分をタオル等で拭き取ります。
- ② 染みを移す為のタオル等を用意します。
- ③ ストレートノズルを使用し、ノズル先端をじゅうたんやカーペット等に密着させてスチームを吹きかけます。
- ④ タオルで汚れを叩く様に拭き取ります。
※汚れの境界線が残ってしまった場合には、布用ノズルに布用ノズルカバーを取り付けて、汚れの境界線に優しくスチームを吹きかけ乾かします。

布の染み抜き

- ①液体等をこぼした直後であれば、余分な水分をタオル等で拭き取ります。
- ②染みを移す為のタオル等を用意します。
- ③染みの付いた布の内側にタオルを敷き、染みの表面をスチームで濡らします。
- ④染みに家庭用液体洗剤等を擦り付けます。
- ⑤ストレートノズルを使用し、ノズル先端を染みに密着させ、内側のタオルに汚れが移る様にスチームを吹きかけます。

窓ガラス・鏡等

※凍ったガラス類及び、外気温が0℃以下の時には使用しないで下さい。ガラスが割れる恐れがあります。

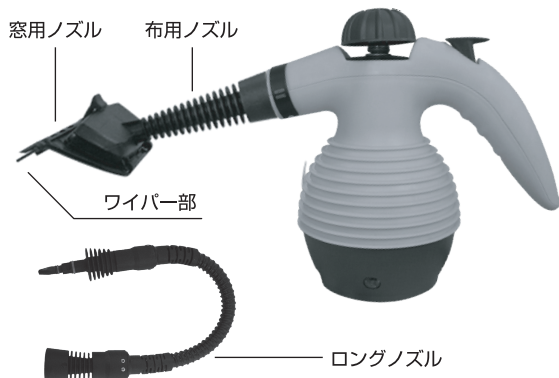
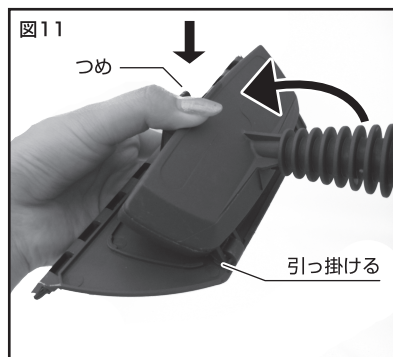
※持ち手以外には触れないで下さい。使用中、使用直後は持ち手以外は大変高温になり、触れると火傷の原因となります。(P.5持ち手について参照)

適しているノズル

- ・布用ノズル+窓用ノズル
- ・布用ノズル+窓用ノズル+ロングノズル

■布用ノズルに窓用ノズルの突起を引っ掛け、ワイパー部分のつめにカチッとめ込み取り付けます。(図11)

■長さが必要な場合は本体にロングノズルを取り付け、先端に布用ノズルを取り付けてから窓用ノズルを取り付けます。



- ①ガラス面にまんべんなくスチームを吹きかけます。
- ②窓用ノズルのワイパー部をガラス面に押し付けた状態で上から下へゆっくりと動かします。
- ③ガラス面に残っている水滴とガラス枠の下に溜まった水滴を布等で拭き取ります。

エアコン

- ※電気製品のお手入れの際は、必ず製品の電源が入っていない事を確認の上ご使用下さい。
- ※一部のエアコンには使用出来ない場合もあります。製品の取扱説明書、製品購入店等でご確認下さい。
- ※エアコンフィン以外の部分にスチームをかけないで下さい。
- ※持ち手以外には触れないで下さい。使用中、使用直後は持ち手以外は大変高温になり、触れると火傷の原因となります。（P.5持ち手について参照）

適しているノズル

- ・ストレートノズル
- ・ロングノズル



- ①エアコンの下に新聞紙等を敷きます。エアコンカバーを開けて、中の取り出し可能なフィルターを外します。
- ②エアコンフィンに付着しているホコリを掃除機で丁寧に吸い取ります。エアコンフィンが湿っていて吸い取れない場合は、絞った布で表面のホコリを拭き取って下さい。
※ホコリを除去せずスチームクリーナーを使用すると、目詰まりを起こす場合があります。
- ③ストレートノズル又は、ロングノズルを使用し、エアコンフィンの目に沿って力を入れずにノズルの先端を密着させてスチームを吹きかけます。汚水はエアコンの屋外器の廃水口から出てきます。
※スクラブブラシは使用しないで下さい。エアコンフィンが曲がる恐れがあります。
- ④エアコンフィンを乾燥させてから、エアコンをご使用下さい。

お手入れ方法

- ※お手入れの際は、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。
- ※お手入れは、必ず本体が完全に冷めてから行って下さい。
- ※本体を水につけたり、水をかけたりしないで下さい。
- ※シンナー・ベンジン等の揮発性有機溶剤のご使用はお止め下さい。

■本体■

- ①じょうごを使用し、本体に175mlの水を入れます。
- ②セーフティーキャップを閉め、内部の沈殿物が取り除かれるまで良く振ります。
- ③セーフティーキャップを外し中の水を捨て、中を乾かします。
- ④本体の外表面は、水を含ませて固く絞った布等で汚れを拭き取ります。

■ノズル・ブラシ■

- ①ノズル・ブラシを水洗いします。
- ②乾いた布で水気を完全に拭き取ります。

こんな時は…

状 況	以下の点をお調べ下さい
スチームが出ない	<ul style="list-style-type: none">・プラグがコンセントに接続されていますか？・本体に十分水が入っていますか？・加熱ランプは消えていますか？
ノズルから水が出る	<ul style="list-style-type: none">・注水容量を守っていますか？・本体を逆さまにしていませんか？・水が十分に熱せられていますか？ ※スチームが出るまで約3～4分程待ちます。
注水時にノズルから熱湯が出る	<ul style="list-style-type: none">・本体を十分に冷やしましたか？
付属ノズルががたつく	<ul style="list-style-type: none">・きちんと取り付けられていますか？ ※P.9ノズル付け替え方法参照

Memo

商品仕様

※商品の仕様及び外観等は、予告なく変更することがあります。

寸 法	約W30×D12.5×H21.5cm(本体のみ) 約2.7m(コード)				
重 量	約1.6kg	材 質	PP ABS PA	ポリエステル	銅 綿
電 源 方 式	交流式	定 格 電 圧	100V	定 格 周 波 数	50/60Hz
定格消費電力	1050W	タンク容量	250ml(最大)	注 水 容 量	175ml(最大)
圧 力 数	噴射最大圧力数:3気圧				
噴 射 時 間	1回の注水(175ml)で約20分間				

